

第6回 議員協議会

令和5年12月28日(水) 5階 第1委員会室	開会 9時55分 閉会 11時07分
----------------------------	-----------------------

午前9時55分 開会

○議長（加藤輔之君）

皆さん、おはようございます。

令和5年第6回議員協議会ということでお集まりいただきました。

年の瀬で忙しいときに、病院議会が急遽ありまして、その中で臨時議会に対する全員協議会ということで、昨日、行われております。

今回、3つの議案がありまして、それに基づいて、今日は事前に皆さん方にしっかりと説明をして、質疑を伺いながら、臨時会で代表の5人がそのまま質疑を出すというふうの手はずにしていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

それから、今日、榛葉議会運営委員長が人間ドックを受けるという事情がありまして、渡邊議会運営副委員長にお願いしてありますので、よろしく願いいたします。

それでは、慎重審議、よろしく願いします。

それでは、これで議会運営副委員長にお渡ししますので、よろしく願いします。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

それでは、議長の指名により議事を進行します。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

初めに、議題1、東濃中部病院事務組合議会についてを議題といたします。

昨日、土岐市役所にて開催されました東濃中部病院事務組合議会、全員協議会の資料はタブレットに保存されておりますので、レジュメの議題順に報告を求めます。

1、令和6年第1回組合議会臨時会の提出議案について、柵町議員に報告を求めます。

○4番（柵町 潤君）

皆さん、おはようございます。

先に行われました全員協議会におきまして、次の臨時議会の一つの議案が上程され、説明を受けました。ちょっとご報告させていただきます。

上程議案は、令和5年度東濃中部病院事務組合病院事業会計補正予算ということになります。皆さんのタブレットの中に予算説明書はあります。

今回の補正は、つまりは物価上昇における債務負担行為の増額ということになります。

この1ページの2条のところで、ここで債務負担行為の増加が行われています。令和4年7月の段階で239億円の債務負担をしておったと思うんですが、物価高の上昇を受けて、21億2,522万円の

追加となります。これは令和5年度令和7年度までの限度となっております。

それから、ここは変更なんです、建設工事の管理業務委託というものも併せて、今までは1億4,200万円だったものが、こちらのほうの人件費だつたりの上昇を受けて、2億2,063万円となっております。

次の2ページ目がその内訳となっております、2ページをご覧ください。

新病院建設工事の21億2,522万円のうち、負担金及び補助金が3億3,900万円。これが県、土岐市、瑞浪市の負担金になります。このほとんどが県の負担金でして、3億3,911万5,000円が県で、土岐市と瑞浪市の負担は5,000円だそうです。残りは企業債を充てるということになっております。

建設工事のほうもあります、この補正後の下の段ですね。こちらの内訳の負担金の3,386万円のうち3,377万3,000円が県、残りの9万円を土岐市と瑞浪市ということになります。あとは企業債で発行するということになっております。

以上、説明となります。内容の詳細については、この後、三輪田議員から報告があると思いますので、そちらのほうでご質問ください。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

ご苦労様でした。

ただ今の報告について、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

別段発言もないようですので、次に進みます。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

2、新病院建設工事の現状及び総事業費について、三輪田議員に報告を求めます。

○6番（三輪田幸泰君）

おはようございます。新病院の建設工事の現状ですけれど、ホームページにも11月の報告がありますけれど、11月現在、造成が79%の進捗率で進んでおります。

今度、来年1月16日に起工式を行って、建方のほうが令和6年2月に着手をされるということです。

資料の2番、建設事業費の確認資料という、A4の横のサイズの「（仮称）公立東濃中部医療センター 建設事業費確認資料」というのがございますが、それをご確認ください。

一応これで、一番左のほうに、公告時（令和4年8月）の際に、建設工事費が220億円、その他が70.6億円、併せて、総事業費として290億6,000万円となっております。

その間に、追加・変更、コスト縮減、物価上昇ということで、中ほどに説明がありまして、まず、建設工事の9.9億円については、計画の内容の変更で、9.9億円生じました。

その右へ行ってもらって、コスト縮減ということで、仕様の変更、構造形式の見直しで14.4億円。これは、公共施設として、きらびやかな施設はコスト縮減ということでなくすような格好で、民間仕様な形でさせてもらったら、コスト削減ができたということで、14億円のマイナスとなっております。

ます。

あと、令和4年11月から令和5年11月の物価上昇分を見込んで、25.49億円のプラスとさせてもらって、合わせて20億円の増額になりまして、令和5年12月において、240.99億円となりました。

その他としましては70.6億円で、医療機器・電子カルテ等の増額として23.6億円、これは今持っておる土岐市立総合病院の施設と東濃厚生病院の施設の機器について、使えるものは使うというのを、令和4年8月時点の精査では、70.6億円でしたけど、追加の変更で精査したときに、23億円の追加金が出るということで、増額しております。

あと、造成工事の増額分として、工事管理業務の追加として1.3億円、物価上昇分が、人件費が0.4億円ということで、ここも20億円プラスで85.9億円となりまして、合わせて290.6億円から336.89億円となりまして、46億円ほど事業費が増えたという形になります。

あと、先ほど言いました、医療機器・電子カルテ等の増額23.6億円については、今現在の精査になりますので、また、当然、増減も出てきますし、物価上昇分についても、今の見積もりでは25億円なんですけれど、ここまで上がらないということもあり得ますので、そこら辺が、336億円かかるというのではないですけど、見込んだ上での336.89億円となりますので、ご承知おきください。

以上です。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

ご苦労様でした。

ただ今の報告について、質疑はありませんか。

12番 成瀬徳夫君。

○12番（成瀬徳夫君）

まず、一番最初の棚町議員から話があった部分、管理業務なんだけど、これ管理業務はどこに委託しとるんですか。

○4番（棚町 潤君）

委託先は五洋建設です。

○12番（成瀬徳夫君）

ということは、これDB方式ですね。

○4番（棚町 潤君）

デザインビルド、はい。

○12番（成瀬徳夫君）

デザインビルドで請け負った場合は、その金額でやっていくのが当たり前で、そこで追加を入れてくるのはおかしいんだって。一般的に。

これは確かに、社会情勢によって物価が上がったと言えるかもしれんけど、だけど、そんなことは目に見えて先なんやて。だから、その辺が私はちょっと腑に落ちんところがあるんだけど、デザインビルドはそういうメリットがあって、デザインビルドで発注するんだから、その業者のほうか

らそういう物価スライドを適用してくださいなんて言われても、私はけるもんだと思うんだけど。普通は。

だから、今回、議会に行かれる場合に、どういうふうにされるかを聞いてほしいんだ、俺は。

デザインビルドであれば、あちらで全部対応してもらわないと困るんじゃないの。でなきゃ、幾らでもこれから増えてくる。

それから、今、棚町議員の話してくれた290億円から336億円になるのは、これも増えてくるんだよ、これ。だから、今、7,798万円、管理業務で増えてくるんだけど、もっともっと増えてくるということだよ。それも今回の議会で資料として出てくれば、あのときにそういう話しましたという話になってきちゃうわけだ。

なので、あのときに、契約したときに、追加変更はないようにお願いしますと2市の市長が言ってたんだから、これで今さら、次から次へと物価スライドしたら、ボンボン上げられたら、たまつたもんじゃないと思うんだけど、市民としても、理解できないと思うよ。

管理なんか、両市の技術屋でやればいいんだわ。お金かかるんだったら。ただ、それだけの人間がおらんということなんで、だから、どこも民間の設計事務所に頼んで管理させるとか、そういう形も一つの方法だと思うんだけど、ただ向こうの言いなりでやっとなるように思うけど、その辺もう一遍聞いてみてください。

まあ、向こうに聞いてもらいたいもんです。でないとこれ、幾らでも増えますよ、これ。下手したら500億円ぐらいいっちゃうんじゃないの。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

4番 棚町 潤君。

○4番（棚町 潤君）

一応、僕らが説明を受けてるのは、国だったり定める官行物の物価上昇を反映させた上で、この債務負担行為を起こしてますよというご説明をいただいております。

なので、業者から言われて上げたという感じではなく、当然、債務負担行為なもんですから、これぐらいを見込んどるよということであって、実際、ここから入札差益があったりして下がる可能性もあるので、まずは見込みとして21億円増やしますよという説明でした。

その上で、管理委託業務について60%ぐらい上がってるので、その内訳はどうなってるという確認は当然させてもらって、その内訳はやはり人件費の上昇分、物価の上昇分と、あと、増員をしなきゃいけないと。建築資材を常時、管理しなきゃいけないので、常駐職員が要るということで、そこら辺の件費が上がってきてると。

あともう1個は、別途発注している工事の設計ということで、薬局だったり、レストランだったり、C工事と言われてましたけど、そういったものが管理業務として増えてきますよと説明をいただきました。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

12番 成瀬徳夫君。

○12番（成瀬徳夫君）

デザインビルドは増えましたね、そうですかじゃないと思うんですよ。デザインビルドは、設計施工なんだから、設計施工は、そのお金で設計したものを作っていくっていうのが基本なんやね。

確かにそれは、物価のスライドが必要な時期もあるかもしれんけども、それが全部が、そうでございますかというわけにはいかんと思うんですけど。

これから契約になると思うので、その辺も建設部には言ってもらって、これ本当に先が思いやられる。この病院。すごいお金がかかってくる、これ。こんな勢いでポンポン上がっていったら。設計なんて8,000万円もアップするなんてさ、びっくりしちゃうよ。

○4番（棚町 潤君）

びっくりしましたね。

○12番（成瀬徳夫君）

結局、管理業務でしょ。設計は設計でやってるでしょ。管理業務、それだったらはいはいと管理するだけの話だよ。それで8,000万円なんて考えられへんけど。5,000万円もあれば、新しい職員のプロをどこから連れてきてもできるわ。

そういう気がしてたまりません。以上です。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

14番 熊谷隆男君。

○14番（熊谷隆男君）

昨日の全員協議会で、皆様の質問やら議題になったと。要は昨日の全員協議会の内容が、今はいかにも当事者のように説明せんなんもんで、あんたらが設計何かやるように思えちゃうけども、そのときに土岐市からの質問が出たやろうし、全員協議会の内容のちょっと報告、こんなようなことも出て、多少意見があったとか、そういうことはないの。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

4番 棚町 潤君。

○4番（棚町 潤君）

意見が出てきたのは、医療機器・電子カルテ等の増額の部分についてです。ここについては、土岐市の西尾議員も大きく発言をされてたんですけど、どれぐらいの費用、まず東濃厚生病院と土岐市立総合病院と2つあって、この2つの病院から使えるものを移設する話だったと思うんですけど、そのリストがどれぐらいの量があるかを確認させていただきました。

1万件ぐらいあるリストの中で今、精査してますと。精査しとると、これ、23億円ともう決まっとなんかという話をしたんですけど、なので、それで決まるとるけど、今の見積もりではこれぐらいになるということなんで、まだまだこれ前後、増減すると思ってたんですけど。

この辺はやっぱ意見が出てたかなと思います。

あと、もう一つは、コストの縮減についてのところの仕様の変更についてなんか意見が出てまして、3つあって、外装の変更、公共物に準じない民間レベルの内容の外装でやることによってコ

ストを縮減することと、あと、設備についてもなるべく民家の工法を利用して、そういうところで、公共物には準じないけど、民間利用では十分に対応できるというような施工をすることで、コストを抑えるよということ。

あと、設備についても、これ僕、ダウングレードするとちょっと思いましたけど、なるべく価格を抑えたものを利用することで、14億円ぐらいのコスト削減に努めましたというご説明がありました。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

14番 熊谷隆男君。

○14番（熊谷隆男君）

さっきの電子カルテというのは、誰もこれ不自然に思うところで、これに対して質問が出るかなと思うんですけど、答弁は明確にどこまで。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

4番 棚町 潤君。

○4番（棚町 潤君）

精査中として、使えそうなやつが、CTとか内視鏡とかエコーとか、大きいものではそれぐらいはありますよと。ただ、そのリストを見せてもらえるかと話はしたんですけど、まだ精査中なので出せませんという回答でした。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

14番 熊谷隆男君。

○14番（熊谷隆男君）

これ建設事業費の確認資料というような名前のあれなんやけど、これ設計完了時が今の12月ということは、もうこれ確定しとるということ。このときに作った予算ということ、これ。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

4番 棚町 潤君。

○4番（棚町 潤君）

そうですね。説明を受けたのが12月中の物価、コストを反映させた金額がこの金額だと。なので、この後、随時、例えば、医療機械を導入するときに入札をかけると。そうすると、そのときの単価になるかもしれないんで、当然上がる可能性もあるし、入札差益があって下がる可能性もあるという話でした。

なので、一概にこの金額になるとは言い切れません。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

14番 熊谷隆男君。

○14番（熊谷隆男君）

それこそ成瀬議員が言われたみたいに、予算というものの観点で行ったら、今の言い方でいくと、この時点ではこのぐらいの予算ですよ。今後をもって、その都度、その都度、物価が上がった、さ

っきの数で調べてみたらこんなふうやった、縮減しようと思ったらこうやったというのを、その都度、臨時会を開いて進めていくのか。

何が言いたいかという、これはある程度まとまったときに、もうこの既成事実のように、予算でありながらも報告していくのは、予算を否認するのか、認めるのかでなくて、もう決まったことの報告になっていっちゃうという気がするんやけども。

もうこういうふうには物価の値で、今の値でこうなりました。それで、これはもうもっと前に出とる数字であっても、議会で調べると、報告しますと、予算、ここまででこれだけかかりますと言ったら、決算とは言わんけども、もう確実なものでしか出てこんのだったら、口答えもできないような話になれへんかなと僕思ったりする。

予算だったら、やっぱり先々これぐらいかかるものに関して、こういう予算を組みますというのなら分かるけども、今これはこの数字になる。これ減るかも分かりませんという、何も質問できない、何か質問しても「これはまだ未確定です」ということでいって、数字だけが出てきとって、先の設計や何かでもさ。

○4番（棚町 潤君）

議案資料ではないもんですから、詳細な内容についてまで深く全員協議会で聞くことはできると思うんですけど。

○14番（熊谷隆男君）

それ聞いてくれてもいいけども、耳元でささやいてくれればいい。

○4番（棚町 潤君）

それから、予算がありますので、やっぱりそこでもうちょっと細かく出てくると思いますし、追及はしていかないかんところはあります。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

14番 熊谷隆男君。

○14番（熊谷隆男君）

物価高騰という理由で言われたら、誰も否定できんし、それ実数がどうやって誰も分からへんのや。なので、ある程度それを予測するところの予算を組んで、それで、不用額が出たりとか、また追加することで現れるわけやけど、今どれだけかかることが分かるので、とりあえずはやっときますと。今後また分かりませんよということ自体が、計画性とていうのが、何か分からないなど。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

6番 三輪田幸泰君。

○6番（三輪田幸泰君）

熊谷議員のおっしゃることはもっともで、私もこの物価上昇分の25.49億円についてお尋ねしたんですけど、やはり今、一番右端の設計完了時の令和5年12月時点での数字が、合わせて336億円になるので、この25億円の上昇分を含んだのが336億円になるということですので、根拠じゃないですけど、物価上昇分は国に認められたものをも含んだということのを言われちゃいますと、認

めざるを得ないじゃないけれど、それを含んで、今の時点ではこれだけ、一番右に係りますという説明でしたので、それこそ、また足りんという言い方は失礼な言い方かも知れませんが、そうやって言ってくる可能性はないことはない。

物価上昇はいろんな事例がありますので、あちらで戦争が起きた、こちらで戦争が起きたと、日本的な話じゃなくなってくるので、国のほうもそこら辺、認めておるといふふうにおっしゃっていましたので。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

14番 熊谷隆男君。

○14番（熊谷隆男君）

これは病院議会議員の人と言っとるわけやなくて、それを通して言ったらどうやっていう意味合いの話で、ご苦労さんやと俺本当に思うわけよ。この役割でいうと。そこまで重く考えても、別に自分らがきかなんだもんで申し訳ないと擁護してもらうこともなくて、こういう意見があったということだけでも伝われば、荷が重いよね。

でも、委員の言っとった、議員の言っとったけども、チェックする姿勢だけは、こういう議員協議会を開かれて意見が出たことぐらいはどこかで意味合いとして伝えていただいて。雰囲気も伝えてもらうというのが、やっぱり大事じゃないかなと思うところで、きっと理詰めの話になってくると訳の分からんことになってくると僕は思う。ちょっと不審に思うことのニュアンスはあるということも伝えてもらいたいなと俺は思う。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

8番 樋田翔太君。

○8番（樋田翔太君）

物価上昇とか、人件費はもちろんあるんですけども、単価表を出してください、そしたら。幾らから幾らになったんで、これだけでも乗せてくださいと。

根拠がないのに、上がったから、じゃあ、幾ら上がったというところを詰めないで、これもっと削れるだろうということができるはずですよ。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

4番 棚町 潤君。

○4番（棚町 潤君）

一応、それについては報告いただきまして、人工が、今まで2万5,000円やったかな。

○議会事務局総務課長（加藤真由子君）

人件費の増額は単価が3万2,800円から3万5,600円に、2,800円上がっております。その結果、1,560万円のアップをしているということです。これが工事管理業務の中です。

○8番（樋田翔太君）

資材のほうは。

○4番（棚町 潤君）

資材のほうは聞いてない。人件費しか聞いてないんですよ。

なので、全部出せと言われると、こんな冊子で出てくると思うんですけど、そこから拾ってくれということになるんでしょうけども。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

8番 樋田翔太君。

○8番（樋田翔太君）

でも、何%とか、そういうのでもまず出させとかなと、向こうの言い値で上げられちゃってるような状況になると一番怖いので、それはやっぱり、根拠としてこれだけ上がってきたというところを今、人件費のところについては出てましたけど、ほかの、主なものだけでいいと思うんで、全部が全部、細目で出させるのは本当に大変だと思いますけども、例えば、鉄のシートが幾らになったとか、そういうことでいいんじゃないかなと思うんですよ。よろしくお願いします。

いつの時点の算定で、いつの時点で上がったか。だから、これだけ上げるという、前後の対比がないといけないと思いますので、できればいい。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

11番 小木曾光佐子君。

○11番（小木曾光佐子君）

今日、ここで説明して、今、皆さんから意見をもらってるんですけど、結局もう1月10日が臨時議会で決めなきゃいけないんですか。

○4番（棚町 潤君）

1月10日です。

○11番（小木曾光佐子君）

そうすると、さっきも資料を読んで、4日までに質疑がある人は出せということだったので、今言われたことは、病院組合の議員さんたちは質疑として出しておかないと、話す機会がもうないでしょ。

質疑を出してもらおうということをしないと、ちょっと年末年始で大変だと思うんですけど。

○14番（熊谷隆男君）

これ質疑ができんだら。そのときにはきっと答えも型どおりしか出てこん。回数も制限があるから。

○11番（小木曾光佐子君）

もうあと10日しかないですね。

○4番（棚町 潤君）

今、議長と話をしてるんですが。2回ずつやりましょう。6回多分、聞けるとしたら、建設工事管理業務委託での増額分の内訳については聞けるともいますけど。

○14番（熊谷隆男君）

今日のやつをこうやっていって、こういう質問が出ましたと事前に話してもらったり、レポート

を渡して、こんな出とると言ったほうがいい。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

12番 成瀬徳夫君。

○12番（成瀬徳夫君）

今の物価スライドという国が定めた数字は、パーセント率で決まっただけですよ。だから、人件費に対して何%は決まってるんで、それ、一遍かけた数字を出してもらいたいと思うよ。

物価は生コンにしても、鉄骨にしたって上がってる。間違いなく上がってるんで、これに対して何%はオーケーという国の数字が決まっただけですね。

ハードルがあるで、その辺もきちっとやってくれてるかということをちょっと聞いてもらったほうがいいと思うし、これは発注するときの問題だと思うんだけどね、これ予算なんだから、予算はこれだけの話で、798万5,000円アップするけど、実際これ、今回の場合は管理のほうで、人件費だけで、7,000万円もかかるのかなということがちょっと。

○4番（棚町 潤君）

それとさっき話してました薬局とかレストランのC工事の管理委託業務も入ってくると言っていましたけど。

○12番（成瀬徳夫君）

それは分かる。

それはデザインビルドに入るとるんだから。病院作るときのデザインビルドに、設計するのに入ってくるんだから、自分たちの責任だよ。そういう中、こちらのお金をちょっと見てくださいますか、おかしいんだ、これ。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

4番 棚町 潤君。

○4番（棚町 潤君）

そういう意味やったか分かんないですけど、発言の中で、薬局とかレストランについては別発注とちょっとそこら辺、確認できてないですね。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

挙手をお願いします。

12番 成瀬徳夫君。

○12番（成瀬徳夫君）

早く言えば、半官半民になるでしょ、これ。この建物。だから、半官半民ということは、物価スライドの国の定めたものに当てはめることがないと思うんだけど。民間なんかほとんど待たない。請け負ったら、この数字をやりなさいと。官が入ってるもんだから、そういうわけにはいきませんという話になって、こういう数字が出てくると思うんだけど、難しいとこやね、そこが一番。

この造成工事はもう終わるのに1億3,000万円はどういうこと。1億3,000万円には工事関係が追加して、これもまためっちゃくちゃな話だなと思ってたわけで。

もう終わったんでしょう。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

4番 棚町 潤君。

○4番（棚町 潤君）

工事自体はまだ終わってなくて、造成は令和6年5月末終了になってますよね。

建屋を建築しながら、引き続き造成をやっていくということですので、その5月末までの分の人件費の増額分を見込んでる。

○12番（成瀬徳夫君）

それは最初からの予定ですよ。結局、アップして造成しながらやってくのは、そういう予定なんだから。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

議会事務局総務課長 加藤真由子君。

○議会事務局総務課長（加藤真由子君）

1人、管理者を増すという。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

5番 柴田幸一郎君。

○5番（柴田幸一郎君）

その事情は何かあるんですか。1人管理者を増やす。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

4番 棚町 潤君。

○4番（棚町 潤君）

何か資材とかが常に運ばれてくるので、受け入れる人が1人絶対要するという話でした。元から考えてくれと思いました。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

8番 樋田翔太君。

○8番（樋田翔太君）

議事に戻しますけど、元から考えられると思いますので、そのところを、何でこのタイミングにしか出してこれなかったのか。想定される場所について、後から後から出してくるなとくぎ刺しといてほしいです。お願いします。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

14番 熊谷隆男君。

○14番（熊谷隆男君）

この時期にさ、歳末のこの時期にやって、年をまたいで議会を開くと。これでいって、通告は正月の休みの間に考えて出してねというような、この日程の組み方は、何となくどさくさ紛れな感じがしてならんねんけど、俺は疑うわけでも何でもないけど、これもうちょっと、例えば、日にちを

置いて説明することがあれば、あったかも分らんし、情報の共有になったかも分らんけど、それについては、本当にこの病院議会の運営について、今度、自分らも一番えらいと思うわけよ。このときにこう言われたって。というのが、何となく不可解なところがあるなと思ったりするんやけどな。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

4番 棚町 潤君。

○4番（棚町 潤君）

1月16日に起工式が決まってる中で、多分、それまでに臨時議会を通さないかんのが多分、土岐市の事務局側の考えです。

○14番（熊谷隆男君）

それで行ったら、前に、もっと12月の頭ぐらいの意味合いで出るんやないのという話です。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

4番 棚町 潤君。

○4番（棚町 潤君）

これの市長決裁が通ったのが、昨日、一昨日やスケジューリングとしてはカツカツでやっとするんやなというのは、そのときに感じました。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

8番 樋田翔太君。

○8番（樋田翔太君）

別に起工式がそこじゃなくても、工期が間に合うかどうかを確認していただいて、ちゃんと審議した上で、通って、初めて起工式なはずじゃないですか。式典云々は別に、こちら議会サイドとしてはどうでもいい話なんで、式典をしたいがためにそういうことじゃなくて、ちゃんと内容を審議した上でやらなきゃいけないというのが全体にあると思うので、工期の問題とかあるかもしれないですけど、もうちょっと事前にやっぱり情報を出せるようにしてもらわないと、実質、年末とかいろいろ休まれることを当然考えて出してくるタイミングが余りにもちょっと遅過ぎませんかと言っていたきたいです。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

11番 小木曾光佐子君。

○11番（小木曾光佐子君）

さっきも言ったように、全員協議会で本当なら、もっともっというんなことが言えたらよかったと思うんですけど、全員協議会の終わった段階の話なんで、今。もうあとは採決するしかない状況に来ちゃってるんで、どこら辺をうまく本会議で伝えて、採決に持ってくるころだけは、本当に気の毒だと思う、組合議員さんが。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

14番 熊谷隆男君。

○14番（熊谷隆男君）

棚町議員が一生懸命しゃべっても、これが向こうへ行ったら、僕そんなこと言ってませんと言ったら、嘘ついたようなことになるで。

なので、これ本当にそういう意味では、ある程度、正確なところを答えるべき人の出席を要請するっこともこれから先は考えてもらったほうが、本当にいいような気がするんやけどな。

そうでないと、これ議員やりたくなくなっちゃうもんな。病院議会にでも、こんな全部説明せんなんなんてことは。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

11番 小木曾光佐子君。

○11番（小木曾光佐子君）

前は全員協議会の前に説明会があったじゃないですか。全員協議会の前にいつも説明あるのね。議員に。それを受けてみんなに話を進めて。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

14番 熊谷隆男君。

○14番（熊谷隆男君）

昨日は榛葉議員から電話があって、瑞浪ばかりが増えてばかりなんて冗談のように聞いたら、いや、そんなことない。西尾さんも言ったし、共通しとるところで、別に瑞浪として言っとるわけじゃないんやからさ、あちらはきっと困ったら聞けとって、こうやってやりよるという理論で聞けるところは、今後のやり方、これからまだしばらく続くんやから、余り委員に言ってもな。これ大変やと思うわけよ。みんな、やった人は経験、分かると思うけど。通告せんなんし。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

議長 加藤輔之君。

○議長（加藤輔之君）

昨日の質疑は、瑞浪側が13、土岐が6人やったと。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

ほかに発言のある方は、挙手にてお願いします。

12番 成瀬徳夫君。

○12番（成瀬徳夫君）

全体的な話になると思うんだけど、その他のところで、医療機器は、びっくりするぐらい上がってくるんですよ。もう5年で変わってきちゃうんだから、だからこれ、今、計画したら、病院ができたときにはもう古いんだから、もうそれぐらいは常時進んでるんで、アップするのはこれ間違いないと思うんですよ。

これは認めざるを得ないと思うんだけど、審議のためには困ると思うけど、この私は建設工事に對してはめっちゃくちゃだと思ふ、考え方が。デザインビルドで請け負った以上は、やっぱりそれで、そんなお金でやっていくのがデザインビルドであって、コストが上がりましたよ、頼みますといっ

たってさ、コストが上がったらデザインビルドでこれだけで、どこか探さな、安くする方法を探さないかんと、これ一生懸命やってくれて、コストダウン14億4,000万円か。14億4,000万円採択されましたと言いながら、物価上昇で25億4,900万円上げましたと、まるきり倍になっちゃつとるけど。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次の質問に移りたいと思います。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

3、経営強化プランについて、大久保議員、報告をお願いします。

○10番（大久保京子君）

タブレットに3、経営強化プランについてが確認されておりますので、それを見ていただきたいと思えます。

公立病院について、2023年度中に経営強化プランを策定して、地域医療提供体制全体の強化を図るといように努めるという総務省からの指示の下で、公立病院である土岐市立総合病院がある土岐市と、東濃中部病院事務組合において、経営強化プランの策定をされますので、その概要について説明させていただきます。

これを見ていただけると分かると思えますが、スケジュールについては記載のとおり、令和6年1月には岐阜県東濃圏域地域医療構想等調整会議にて意見聴取をされます。

その後、1月19日から2月9日まで、パブリックコメントを募集して、令和6年3月にはプランを公表するということとなります。

この時点で、名称は、今お話ししたように、土岐市立総合病院及び、仮称ではありますが、公立東濃中部医療センターというところでの経営強化プランを策定するということとなります。

策定主体としては、先ほどお話ししたように、土岐市と東濃中部病院事務組合ということとなります。

それと、次の2ページになりますが、公立病院経営強化プランの概要というところがあります。ほぼ、概要ですので、こんな感じということとなりますが、先ほど話したように、地域医療提供体制全体の強化を図るところが最も重要なこととありまして、そこに関して、様々な、例えば、2ページ目の中段から下ですね。役割、機能の最適化と連携の強化、そこにはいろいろと、6つに分かれて記載がされておりますが、このように努めたいということとございます。

次のページに行きますと、またそこにも経営体系の見直しであったり、施設の最適化であったり、経営の効率化というようなことなど、最後には経営強化プランの点検、評価、公表というところまでも一応示されておりますが、このような形で、パブリックコメントの結果において、3月にプランを公表したいということとあります。

その中で、最初は土岐市立総合病院と東濃中部病院事務組合ではありますが、最終的に公

表するのは、仮称ではありますが、公立東濃中部医療センターというところが病院名としてプランを公表するということになります。

プランの計画期間としては、令和7年度から令和9年度ということになるということでありました。

その中で質問がありまして、先ほどの1ページの役割、機能の最適化と連携の強化のところ、医療機能と指標に係る数値目標があります。そこで、1日当たりの入院患者数、それから、1日当たりの外来患者数等書いてありますが、うちの榛葉議員が、この1日当たりの入院患者数について、例えば令和7年だったら、190人の入院を1日で受けるのかとか、ちょっとその1日当たりの意味が分からないということで質問されました。

その1日当たりの入院患者数は、いわゆるその時点でベッドの埋まり具合がおおよそ190人であったり、令和8年度は290人であったり、令和9年度で黒字化を目標としておりますので、ベッドの埋まり具合が320人を目標としているということでありました。

それから、外来患者数についても、1日820人は多過ぎるんじゃないかということもありましたが、結局は令和9年度で黒字化を目標としてるので、今ここで書いてあるのが多いと感じるけれども、目標としてこのぐらいをとということを記載したいんだということでありました。

それと、次に裏面の最後のところなんですけれども、経営強化プランの点検評価公表についての中に、経営評価委員会という文言がありますが、このメンバーはどのような方々になるのかというのを土岐市の議員が質問されましたが、それもまだメンバーがどうなるのか検討中であると。そこで、この事務組協議員がここにメンバーとして入ることになるのかという質問が土岐市のほうからありました。それについても、まだ検討中であると。ただ、土岐市と瑞浪市から1人ずつでも議員が入っていただければ、両市の考えとか意見がそこで反映される場合があるかもしれないので、検討をしていくという答弁でありました。

以上です。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

ありがとうございました。

14番 熊谷隆男君。

○14番（熊谷隆男君）

これ、誰が作ったやつなわけやね。東濃中部病院組合が作ったのか、どこが作ったやつ。事務組合が作ったの。

○6番（三輪田幸泰君）

一番上に経営強化プランとありまして、策定主体とありますので、名称として土岐市立総合病院とうちの東濃中部医療センターの2つありまして、土岐市立総合病院は土岐市だけです。東濃中部医療センターは今の運営上、瑞浪市が入る。東濃中部医療センターは東濃中部病院事務組合ですので、これ2つあるんですけれども、うちに係るのは下の2つ目に係るものだけですので、熊谷議員がおっしゃったのは、事務組合が、この強化プランというのは策定しております。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

14番 熊谷隆男君。

○14番（熊谷隆男君）

これ、経営プランであるけども、現実にこれが可能かどうかは、指定管理を受けたところでないと答えられないことですよ。例えば、科目名をこうやっていったって、医師がそろわなきゃできんわけやから。

それから、経営のほうで1日当たりがどうやって数字自体も、これは現実に、指定管理者でないと思えない数字やと僕は思うわね。これだけやれよと言ったって、やれないんならやれへんのやから。看護師さんが足りんにしようが、何にしようが。

それで、なおかつこの数値目標の数値を令和7年度の初めから、この細かい数字を出すのを、本当に事務組合が出せるのかは、僕の想像で言えば、これは全てJ A岐阜厚生連が、指定管理者が上乘せしたやつを発表しとるとのことだと思っわけよ。

結局は、表向きは報告はこういうことでもいいけど、作ったのはJ A岐阜厚生連ということなわけよ。

これを、さっきの話やないけども、評価すること自体は、今度はそこしかできなくなる、これは指定管理を受けるJ A岐阜厚生連を評価するという、現実的にはよ。そんなこと言ってないんやから、そんなこれ作られるわけがないんやから。

そういうことであつたら、やっぱり現実的なものでいけば、もう答えもない、この経営プランについては、はっきり、何か質問しても答えてないわけよ。例えば、事務組合に聞いても、誰が責任持って、どこから積算して出るのかという話でき、経常収支比率の数字はどこから導き出した数字かは誰も答えられんと思う。J A岐阜厚生連しか。

できれば、もっとそここのところの責任をやっぱり示すあり方でないよ、これはきっと総務省にこういくやろうという、現実的にはこういうことなんや、言いよることは。

そこらでないよと質問のしようがないやない。質問したとして、事務組合が土岐市の病院のことを答えられるわけがないやないかと俺思うよ。本当のところ。

実のないことをやっとするわけよ。それで、やっぱりそういうときにはJ A岐阜厚生連も来てもらわないと、この経営プランまで出たときには、どうやってやっていくのかということのときには、皆さんがこうやっていって、J A岐阜厚生連がこういうふう提示しますと。皆さん、同意してくださいと。これは答える人がいないんやからね。土岐市に。

だから、これを進めるのに評価していくとか、確認していくには、やっぱりJ A岐阜厚生連が出てもらえないと、J A岐阜厚生連が出てこないと、本当に実のところは表向きだけの話になつちやわへんかということ僕を危惧する。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

6番 三輪田幸泰君。

○6番（三輪田幸泰君）

今の時点では、事務組合にJ A岐阜厚生連さんが入るとするという体ではなくて、J A岐阜厚生連さんの指定管理として今後、経営に携わっていくということですので、熊谷議員の危惧されとることは、当然、J A岐阜厚生連さんのプランだと思われま。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

14番 熊谷隆男君。

○14番（熊谷隆男君）

今で分かったことは、答えられんのかから、市がそんならその分チェックしよるのかということやわな。両者。それを議会を持って、議会の同意を得ましたということにしてくださいとあんた言いよるけども、暗に。これ違うやないかということやで。

だから、言いにくいこと言っあげるといのが市にとっても良いことなんやから、やっぱり経営プランということでは、経営を担うJ A岐阜厚生連がやってくんやから。指定管理制度の中で。そのところの説明責任は、やっぱりJ A岐阜厚生連がおるところでなきゃ、誰がこれ、質問したって答えられんのかやない。

例えば、これは本当に血管外科はできるんでしょうか、誰がこれ大丈夫ですなんて言えるわけもないし、質問のしようがないというのが現実で、もちろん皆さんもできんけども、もともとできんということ。今の議会のメンバーや全員協議会のメンバーでは。やっぱり全員協議会でやるときには、こういうことの、このプランに関してなんか特にJ A岐阜厚生連に出てもらわべきやないかと、そこで聞くべきやないかと思う。

チェックしない、J A岐阜厚生連のやることについて。だから、それは行政でやってますと。両市がJ A岐阜厚生連との会合の中でちゃんと質問してます。ちゃんとというのは何やと、そのときに言わなあかんのやて。

俺はこんな議会の役割で言ったら、追認で決まったことに対して賛成の方の挙手を願いますと、手を挙げとるだけになっちゃうというのになるんで、やっぱり当事者が出てもらうということが大事やと思う。このプランに関してはね。

本当にこ行政で作れる数字、内容ではないと俺は思う。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

12番 成瀬徳夫君。

○12番（成瀬徳夫君）

いつも議長が言ってみえる、これ東濃中部医療センターの交通機関の話。こういうことは、ここにちょっとうたってもらわほうが良いんじゃないかなと私は思うんだけど、経営に関しても、やはりこういうことで集めますということをやちょっとうたってもらわほうが良いのかなっていう気がするんで、瑞浪市民の足をどうしてくれるんだという話が一緒に出てるんで。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

14番 熊谷隆男君。

○14番（熊谷隆男君）

市長が、足に関してはJ A岐阜厚生連に任せて、J A岐阜厚生連の中でやると言いよるわけやから、その経費もかかるし、どういふことで利用者については、一番関わる経営プランの中で、大きいところやと思う。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

16番 柴田増三君。

○16番（柴田増三君）

そもそも経営強化プランの中に公立病院の部分で、土岐市の総合病院もあるんやけど、公立でもやっとなる部分は、東濃中部医療センターやったか、現在の東濃中部病院事務組合が関わっとなる部分だけでやるもんで、その中に強化プランの中に何かが付帯したような形で、土岐市の総合病院及びになってる。

それで、示された下の部分は、今度、東濃中部病院事務組合の部分が概要という形でなっとなるんやけど、土岐市の部分の何か総合病院のやつと合算された形の中の経営が含まれていっちゃってるようなイメージがするんやわ。

経営プランは東濃中部病院の経営プランだけでいいわけよ。土岐市が入ってきている。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

6番 三輪田幸泰君。

○6番（三輪田幸泰君）

資料の1ページの頭を見てもらうと、あくまでも東濃中部病院、この1ページ、2ページについては、400床の東濃中部病院についての経営プランですので、一番表の部分については、土岐市立総合病院と東濃中部病院についてなんですけれど、あくまでもこの2ページ、3ページの概要については、この今の土岐市立総合病院は入っておりません。

ですから、400床が根拠ですので、400床の新しい病院だっというこのプランですから、柴田議員のご心配されとる今の土岐市立総合病院は、ここには入っておりません。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

10番 大久保京子君。

○10番（大久保京子君）

私、最初に説明したかと思うんですけど、総務省から、現在の公立病院についての経営強化プランを2022年、2023年度中に策定するようと言われていふわけで、現在、土岐市にある公立病院ですな。土岐市立総合病院が今現在あるわけなんで、そこも当然、プランを策定しなきゃいけないということで、両方が作られて、最終的にこの（仮称）公立東濃中部医療センターの経営強化プランに関しては、一体化するといふ説明を聞いております。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

16番 柴田増三君。

○16番（柴田増三君）

そやけど、何かいかにも総合病院を統合した中で、最終的には公立東濃中部医療センターになり

ますよというような言い方やけど、土岐市の経営は土岐市の経営やもんで、ここにうたう必要があるのかということよ。

ここの表現も含めて、これは総務省が言ったことにしろ、ここは病院組合で関わる部分やもんで、これが書いてあると、何か総合病院も含めた形の中で、総合病院のあるところも一緒に含めちゃって、ここに混ぜて一遍、最終的には400床の新しい病院にくっつけてしまえよというようなイメージがある。

土岐市立総合病院は、非常に赤字をかかえている部分があるわけやな。それをも含めた中で、経営プランのここに合体されるようなイメージがあるんやで。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

8番 樋田翔太君。

○8番（樋田翔太君）

今おっしゃった部分で、土岐市立総合病院及びになってますけど、その部分については審議する場所じゃないので、うちは関係ない。

検証としてそこに入れてくれるなというところですよ。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

12番 成瀬徳夫君。

○12番（成瀬徳夫君）

土岐市立総合病院も一緒くたに今考えとるわ。

それは東濃中部病院事務組合があって、これは公立東濃中部病院医療センターしか関わったらいかんわけよ。それ土岐市総合病院が関わってくるわけ。それはおかしいよ。全然おかしい。

だからやっぱり、これ今の樋田議員が言われるように、消してもらわないかんし、それから、その下の策定主体の土岐市も消してもらわないかん。その下の土岐市立総合病院は全部消した方がいい。

○14番（熊谷隆男君）

病院議会に出たら分かるように、瑞浪の質疑の出し方も結構堅苦しいけどさ、通告してあるし、打合せなんかやるのは、土岐市のほうは非常に精査して、通告内容を言うのは、自由な発言がなかなかできんもんで、あの場で。

やっぱりどこかでそういうことを伝えようというのの仕組みもやっぱり言ってもらったほうがいいと思う。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

ご苦労様でした。

では、次に移りたいと思います。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

4、その他、今後の日程について、棚町議員に報告を求めます。

○4番（棚町 潤君）

その他、今後の日程についてですけど、第1回組合議会の臨時会は1月4日、11時に議案質疑の通告期限がありまして、そこでプレスリリースがあります。

その後、1月10日9時に、令和6年第1回組合議会臨時会が開催されます。

続きまして、第2回組合議会定例会が、2月9日に全員協議会がありまして、2月13日に一般質問の提案についての通告期限があり、2月15日に組合議会定例会が開催されるということになります。ここで予算が出てくると思います。

あと、プレスリリースがございますので、それまではこの情報は表に出さないように、よろしくをお願いします。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

14番 熊谷隆男君。

○14番（熊谷隆男君）

この日程で行くと、要は1月10日に臨時会を開かないと、補正を組まないと動かないと。日にちにしてみたら、ほぼ1カ月先には定例会で、その1カ月が欲しいで、この臨時会でやるということなの。

○4番（棚町 潤君）

債務負担も上げとかないかんということなんですよ。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

議会事務局総務課長 加藤真由子君。

○議会事務局総務課長（加藤真由子君）

建設工事を1月に契約したいんです。

○14番（熊谷隆男君）

それがもとにあるの。

○議会事務局総務課長（加藤真由子君）

それもそうです。なので、その前に予算を債務負担をして、予算を通すことになります。

○11番（小木曾光佐子君）

今、1月4日にプレスリリースがあるとされたじゃないですか。今ここで言ったさっきの経営強化プランも事務組合だけでいいやないかと。土岐市立総合病院は関係ないんじゃないかといったものも、このまま出されちゃうんだよね、今のままやと。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

4番 棚町 潤君。

○4番（棚町 潤君）

これスケジュールになりますけど、1月17日に岐阜県東濃圏域地域医療構想等調整会議で意見聴取が行われるそうです。その後、パブリックコメントを経て、3月にプラン公表になってるんでここで出るわけではないと思います。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

議会事務局総務課長 加藤真由子君。

○議会事務局総務課長（加藤真由子君）

プレスリリースされるのは議案だけですので、今日説明をした1番の部分になります。2番の総事業費は、1番の額を説明するための資料であって、例えば、この表の220億円が240.99億円になったものは、建設工事だけなんですけども、債務負担の中に、下の段の一部が入っているというような説明で、この表が全体の総額を示すものであって、そのうちの債務負担が、上の段と下の段の一部を含めているという意味になります。

例えば、23.6億円の医療機器の増額については、今の段階では最大で見ていると思っていいと思います。ここは減るほうの可能性が多いと思いますけども、これが一番大きい額の見込みであるという説明でした。あとは、人件費の増減が今後もある可能性もあるので、そういう部分は変動があると思います。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

他に質問はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

その他意見もないようですので、本議案については以上といたします。

○議会運営副委員長（渡邊康弘君）

それでは、進行を議長に戻しますので、よろしくお願いいたします。

○議長（加藤輔之君）

それでは、続きまして、議題2、その他を議題といたします。

その他、何かありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

特段意見もないようですので、以上とします。

○議長（加藤輔之君）

それでは、今日伺った意見を質疑としてまとめます。

以上をもちまして、令和5年第6回議員協議会を閉会します。

ありがとうございました。

午前11時07分 閉会